

# 前立腺全摘除術を受けられる

## 様の入院計画表

(患者ID: \_\_\_\_\_) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

岡山赤十字病院 病棟 (6階南) 泌尿器科 主治医 \_\_\_\_\_

受持ち看護師 \_\_\_\_\_

患者様署名 (代理人署名) \_\_\_\_\_

日付	入院時		手術前日		手術当日		手術後	手術後	手術後	手術後	手術後	手術後		
	月	日	月	日	月	日	1日目	2日目	3日目	4・5・6日目	7・8日目	9日目		
		手術前		手術後										
		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		
達成目標	・手術の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。				・鎮痛剤を使用し、疼痛コントロールができる。		・尿に異常がない。 ・離床の必要性を理解し、離床できる。		排尿時に異常がない。			・退院できる。		
説明	・入院生活、手術について看護師が説明します。 ・麻酔科医と手術室看護師の手術前の訪問があります。 ・手術に必要なものを準備してください。(下記参照) ・骨盤底筋体操について説明します。				・手術直後、主治医より家族の方に手術についての説明があります。						・膀胱造影の結果が問題なければ尿管が抜けます。 ・尿管が抜けた頃は尿漏れをする場合があるので、尿パットを購入し、使用してください。 ・尿管が抜けたら骨盤底筋体操をしましょう。 尿漏れの症状は徐々に改善します。焦らず頑張り		退院後の日常生活について主治医・看護師がお話します。	
検査			・血圧、脈拍、体温を測ります。		・血圧、脈拍、体温を測ります。 ・腹部レントゲン(手術中)		・血圧、脈拍、体温を測ります ・採血		・膀胱造影の検査があります。(月 日) ・採血(4日目)		・体温を測ります			
処置薬剤	<b>必要物品</b> バスタオル1枚 T字帯 2 本腹帯 2 腹帯 枚		・2本点滴をします。 ・毛剃り、お臍のそうじ・爪切りをします。 ・手術に必要な物を揃え、名前を書いてください。 ・午後3時から下剤(マグコロールP 250ml)を飲みます。		・10時頃より点滴をします(午後から手術の場合) ・手術衣(お持ちします)に着替えます ・下肢血栓予防用のストッキングをはきます ・午後3時から下剤(マグコロールP 250ml)を飲みます。 ・____時____分頃手術室へ行きます		・酸素吸入をします(必要に応じて) ・点滴をします 抗生剤の点滴をします ・手術中 _____ ・夕方 _____ ・腹部に管が入っています ・ガーゼ交換をします ・背中に痛み止めの管が入っています(必要に応じて) ・傷が痛む場合、鎮痛剤を投与します。		朝までで終了。 ・朝 _____ ・夕 _____ 抜去します。		・状態に応じて抜去します ・傷の状態を見て糸抜きをします			
	下肢血栓予防用のストッキングをお渡しします。													
安静度	・自由です。		・ベッド上で過ごしてください。		・歩行可能です。合併症予防のため、できるだけ動いてください。									
排泄	・トイレへ歩いて行ってください。		尿の管が入っています。 ・排便は、ベッド上で便器を使用し行います。		尿の管が抜けます。トイレに行ってください。		・排便時、トイレに行ってください。		尿を測ってください。		尿漏れが多い場合はベッドサイドで尿器を使用してください。			
食事	・普通食が出ます。		・朝・昼低残渣食(粥) ・夕食から絶食 _____時から絶食、 _____時から絶食です。		・絶食です。(口渇がある場合はうがいしてください。) ・昼より重湯 夕より三分粥 が出ます		・朝三分粥 ・昼五分粥 ・夕全粥		普通食が出ます。					
清潔	・入浴又はシャワーを浴びてください。		・朝7時~8時シャワーをあびてください。		・タオルで体を拭き替えます。		タオルを配ります。		尿の管が抜け、傷やお腹の管が抜けた部分を水に濡れてもよい絆創膏に貼りかえたら、シャワーができます。 →その2~3日後から入浴できます。					

特別な栄養管理の必要性 有・無 (どちらかに○)

総合的な機能評価: 自立 ・ 一部介助 ・ 全介助

入院時にこの用紙を持参してください。

字病院 開始年月日: H16.3 改正年月: H18.3, H24.4, H25.3, H29.4,